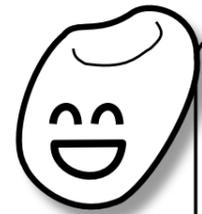


『ハナエチゼン』栽培暦

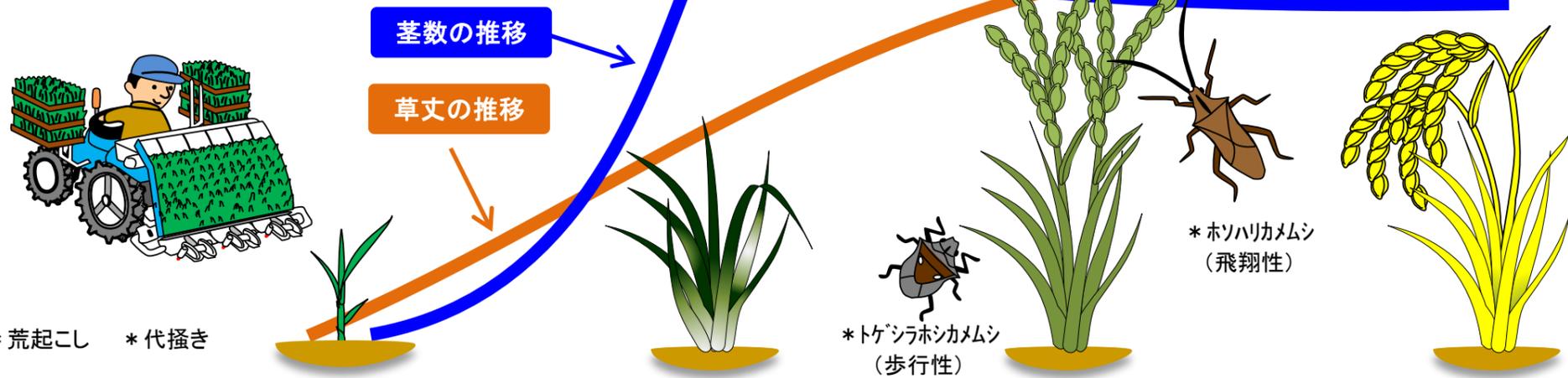
育苗期 田植え期 活着期 分けつ期 幼穂形成期 穂ばらみ期 出穂期 登熟期 成熟期 刈取り期



- 福井米の目標
- ①玄米タンパク質含量 6.8%以下
 - ②1等米比率 90%以上
 - ③整粒歩合 80%以上

各ポイントに注意し栽培計画を立てましょう。

生育



土づくりを行う。
(稲ワラの鋤き込み・土壌改良剤散布)

- * 施用例(10a)
- ①ケイカル200kgとフシクエース40kg
 - ②元氣3兄弟60~80kg
 - ③とれ太郎60~80kg

* 荒起こし * 代掻き

* トゲシラホシカメシ (歩行性)

* ホソハラカメシ (飛翔性)

	4			5			6			7			8			9			10											
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬									
作業	圃場準備			田植			田干し			溝切り			中干し			穂肥			病虫害防除			収穫			乾燥調製			土作り		
水管理	[水管理]			活着までは深水、その後は浅水管			[水管理]			間断通水			水管理で肥料効果をも高める			間断通水			刈取り5日前まで水管理			[水管理]			[水管理]			[水管理]		
施肥	通常			ふっくら2号			通常			ふっくらエコ追肥			通常			通常			通常			通常			通常			通常		
除草剤	通常			初期			中期			通常			通常			通常			通常			通常			通常			通常		
防除	通常			箱施剤(R3JA出荷苗は無施用、下記の箱施剤を施用)			イモチ病防除			カメシ類防除			通常			通常			通常			通常			通常			通常		

★施肥量の目安(一発肥料)

栽培区分	資材名(一発肥料)	対象支店名	土壌区分	施肥量(kg)
移植・直播	早生用一発522 (25-12-12) 比重0.80	福井北部・福井東部・福井南部・福井中央・福井西部・美山・永平寺	粘土質	30
			普通田	35
		麻生津・文殊	砂質田	40
			肥沃田	28
			普通田	32
			秋落田	36

※ 農薬は使用回数・収穫前日数を農薬のラベルで確認して使用しましょう!!



栽培管理

ポイント

育苗ハウスの管理

適切な育苗管理でズングリ苗を作りましょう。

ハウスの温度管理

育苗期	日数	日中	夜
緑化期	1~2日間	20~25℃	10~15℃
		10℃以下や32℃以上にしない	
硬化期	前半	3~7日	25℃以下
	後半	8~17日	10℃以上
		低温時以外は外気にならす	

* 被覆資材は緑化期の直射日光を避けるためや低温時に使用下さい。

育苗管理に温度計は必需品!! (地面から20cmの高さに設置)

田植え

- ※ 肥料(比重)・施肥量によって開度を調整、圃場条件等で施肥量が変動する場合があります。
- ※ 元肥は、地力や前作の残肥を考慮して加減をする。
- ※ 1株あたり3~4本植えの細植え
- ※ 栽植密度は60~50株、植え付け深さは3cmが目安。
- ※ 病虫害予防のため、田植え当日に(育苗箱施薬)をする。

溝切り・中干し

- ※ 活着後浅水管理でワキが見られたら田干しをする。
 - ※ 1株が18本程度で中干し開始
 - ※ 間断通水により、根腐れ、下葉の枯れあがりを防ぐ
- 土壌改良材(6月)
- ※ 健全な稲の生育と品質向上のため散布しましょう。
 - ケイカル 60kg/10a
 - ようりん 60kg/10a
 - 珪酸加里 40kg/10a

病虫害防除

- ※ カメシ類防除のために、畦畔や農道の雑草が住み家となるので草刈りを随時実施
- ※ 防除の基本、病気は発生前に害虫は発生初期の早朝か夕方
- ※ 作物の生育や病虫害の発生状況を観察して、早期に防除実施

適期刈取・乾燥調製

- ※ 出穂日を記録し、刈取り開始日の目安を確認
- ※ 立毛中の籾水分が25%を下回る時期が刈取り目安
- ※ 刈取り時間は、朝露等がなく午前10時以降実施

